

ブラックロック世界好配当株式オープン (愛称：世界の息吹)

追加型投信／海外／株式

臨時レポート

「足元の市場環境と当ファンドの今後の見通し（2025年3月）」



ポイント

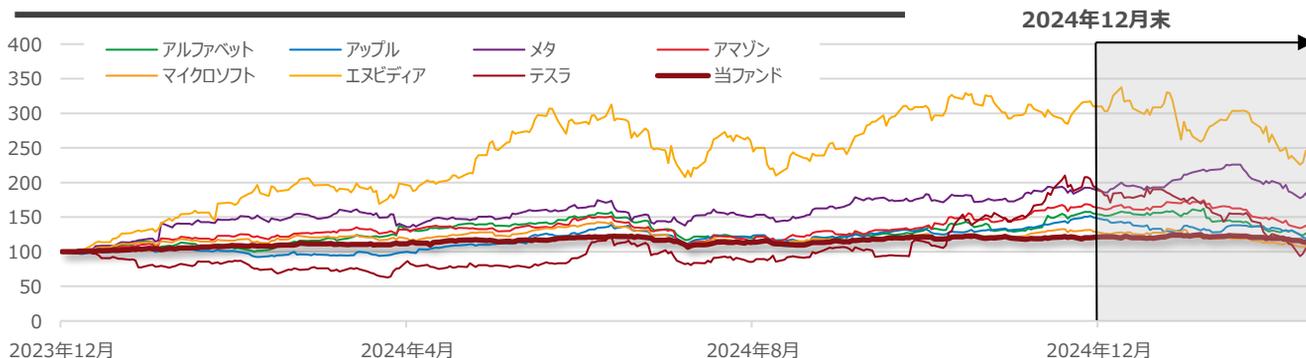
1. 株式市場の減速懸念 - マグニフィセント・セブンの調整
2. 市場全体に漂う不透明感 - グロース優位からバリュー優位に
3. 当ファンドのポジショニング - 欧州の好配当株に注目

1. 株式市場の減速懸念 - マグニフィセント・セブンの調整

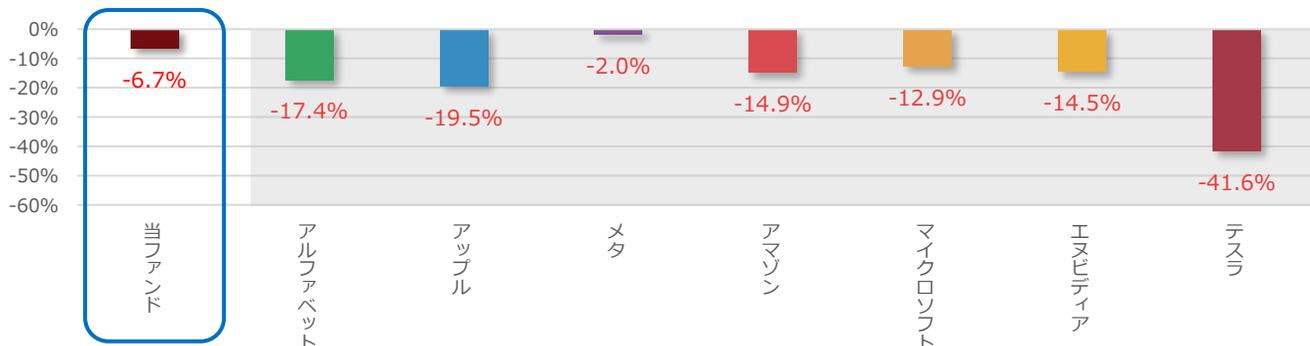
2025年の株式市場は軟調なスタートも、当ファンドは下落幅を抑制

- 2024年の株式市場は一部のAI関連銘柄の上昇に支えられ、堅調に推移しましたが、2025年に入って減速基調が強まっているように見えます。その背景の一つとして、ここ数年、株式市場を牽引してきた米国株式市場の時価総額の約3割を占めるマグニフィセント・セブン (M7) *銘柄の大幅な調整が挙げられます。
- 地政学的リスクの上昇や、米トランプ政権による関税発動に起因する株式市場におけるボラティリティ (変動性) の高まりを受けて、インカム性が高く、下落抑制効果が期待できる当ファンドが主に投資をする好配当株への妙味が増していると考えています。

当ファンド、マグニフィセント・セブン (M7) の比較 (2024年初来～2025年3月14日、日次、米ドルベース)



2025年初来の騰落率比較 (2024年12月31日～2025年3月14日)



出所：ブルームバーグ、ブラックロック。2023年12月末を100として指数化。円建てまたは円換算ベース。

*「マグニフィセント・セブン (M7)」とは、米国株式市場を牽引する主要テクノロジー企業7社、アルファベット、アップル、メタ、アマゾン、マイクロソフト、エヌビディア、テスラを指します。

上記は過去の実績であり、将来の投資成果を保証・約束するものではありません。

本資料のP.3以降に当ファンドに係る投資リスク、その他の重要事項を記載しておりますので必ずご覧ください。 1

2. 市場全体に漂う不透明感 - グロース優位からバリュー優位に

足元は相場の転換期、好配当株に投資妙味

ここ数年の市場を牽引してきたグロース株は、前述の通り足元は調整局面にあり、株式相場は転換期にあると考えることができます。

このようなボラティリティが高い市場環境においては、株価が企業価値に比べて割安なバリュー株がグロース株との比較では下落幅を抑制するなど、バリュー株優位な相場環境になる傾向があります。(右グラフ参照)

単なる高い配当を出す企業だけではなく、今後の配当の成長が期待できる企業にも着目する「好配当株」は、株そのものの配当利回りが相対的に高いことから、バリュー株の特性を強く持っており、足元のような市場環境下においては、投資妙味が高まり、より注目が集まることが期待できます。

世界グロース株と世界バリュー株の推移



出所：ブルームバーグ、ブラックロック
 期間：2023年12月末～2025年3月14日、日次、起点を100として指数化。
 世界グロース株：MSCI ACWIグロース株インデックス（配当込み、米ドルベース）
 世界バリュー株：MSCI ACWIバリュー株インデックス（配当込み、米ドルベース）

3. 当ファンドのポジショニング - 欧州の好配当株に注目

欧州の好配当株にも注目した柔軟な銘柄選択

米国を中心とした株式市場の調整がみられる中、当ファンドでは、足元、欧州地域の銘柄に注目し、クオリティが高い好配当株への投資を積極的に行っています。

欧州株¹は年初より+13.6%*と米国株²が同期間において-4.1%となる中、底堅く推移しています。背景には、欧州各国の大規模な財政拡大計画の打ち出しやウクライナ停戦交渉の進展に対する期待が挙げられます。

当ファンドでは、クオリティの高い好配当銘柄への投資を継続しながら、一つの特定した地域への投資を行うのではなく、世界に分散された地域への投資を行うことで、投資リスクが管理されたポートフォリオ運営を行っていく予定です。

*期間：2024年12月末～2025年3月14日
¹欧州株：MSCI欧州株配当込み指数（米ドルベース）
²米国株：MSCI米国株配当込み指数（米ドルベース）

当ファンドでの欧州株の投資事例 (2025年2月末時点)

欧州地域への投資割合：27.1%



アストラゼネカ（英国）
 バイオ・医薬品企業で、医薬品の開発、製造、販売などを行う。

配当利回り：2.0%



ビルバオ・ビスカヤ・アランティヤ銀行（スペイン）
 スペインの銀行で同国のほかトルコ、ラテンアメリカなどで事業の運営を行う。

配当利回り：5.5%



RELX（英国）
 分析及び意思決定ツールのグローバル・データ・プロバイダー。

配当利回り：1.7%



BAEシステムズ（英国）
 英国の航空宇宙産業を担い、防衛・航空宇宙・セキュリティに関連する事業を行う。

配当利回り：1.7%

上記は過去の実績であり、将来の投資成果を保証・約束するものではありません。

投資リスク ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の投資リスクをご覧ください。

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドにかかる主なリスクは、■株価変動リスク ■為替変動リスク ■カントリー・リスク ■債券投資のリスク ■デリバティブ取引のリスク等があります。

お申込みメモ ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）のお申込みメモをご覧ください。

| | |
|-------------------|--|
| 信託期間 | 無期限（設定日：2005年9月28日） |
| 購入単位 | 分配金の受取方法により、一般コースと累積投資コースの2つのコースがあります。購入単位および取扱いコースは、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入受付日の翌営業日の基準価額 |
| 購入代金 | 販売会社が定める期日までにお支払いください。 |
| 決算日 | 毎月25日（ただし休業日の場合は翌営業日） |
| 収益分配 | 毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。〈累積投資コース〉を選択された場合の収益分配金は、税引き後自動的に無手数料で再投資されます。 |
| 換金単位 | 換金単位は、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金受付日の翌営業日の基準価額 |
| 換金代金 | 換金代金は原則として、換金受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。 |
| 購入・換金日 申込受付不可日 | ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ルクセンブルグの銀行のいずれかの休業日に該当する場合は、販売会社の営業日であっても購入・換金は受けません。 |

当ファンドに係るファンドの費用 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の当ファンドに係るファンドの費用をご覧ください。

投資者が直接的に負担する費用

| | |
|---------|---|
| 購入時手数料 | 購入受付日の翌営業日の基準価額に <u>3.30%（税抜3.00%）</u> を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額。 詳細は販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | |
|------------------|---|
| 運用管理費用 （信託報酬） | ファンドの純資産総額に対して <u>年1.298%（税抜1.18%）</u> の率を乗じて得た額 ※運用管理費用（信託報酬）は、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※投資対象ファンドにかかる報酬相当額は、委託会社の信託報酬より支払われます。 |
| その他の費用・手数料 | 目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用、ファンドの財務諸表監査に関する費用等の諸費用について、ファンドの純資産総額の年0.11%（税抜0.10%）を上限として、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払うことができます。 ファンドの諸経費、外貨建資産の保管費用等についてその都度、ファンドから支払われます。 また、投資対象ファンドに係る保管報酬、事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。 ※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |

※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

※購入時手数料、運用管理費用（信託報酬）およびその他の費用・手数料は、消費税および地方消費税に相当する金額を含みます。

※購入・換金単位および購入時手数料については、別に定める場合はこの限りではありません。

委託会社

ブラックロック・ジャパン株式会社
 金融商品取引業者関東財務局長(金商)第375号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員/日本証券業協会会員/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

投資信託説明書(交付目論見書)のお問い合わせ、ご請求

販売会社にご請求ください。

※以下の表は原則基準日時点で委託会社が知りうる限りの情報を基に作成したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。

| 金融商品取引業者名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
|---|------------------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| いちよし証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| auカブコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SMB C日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| UBS SuMi TRUSTウェルス・マネジメント株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3233号 | ○ | ○ | ○ | |
| moomoo証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3335号 | ○ | ○ | | |
| 東海東京証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券およびマネックス証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号 | ○ | | ○ | |
| PayPay銀行株式会社 | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号 | ○ | | | |
| 株式会社SMB C信託銀行 ※右の他に一般社団法人投資信託協会にも加入 | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第653号 | ○ | ○ | | ○ |
| 株式会社広島銀行 (インターネット専用) | 登録金融機関 中国財務局長(登金)第5号 | ○ | | ○ | |

本資料は、当ファンドの理解を深めて頂く為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見直し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。